

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成17年10月

(平成17年9月末調査)

平成17年10月13日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫
経営相談室**

電話 0266(23)4567(代)

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率 【8月】	諏訪公共職業安定所管内	1.29 倍	0.05 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.38 倍	0.06 ポイント
手形交換高【9月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	13,083 枚	13.0 %
	金 額	15,748 百万円	8.8 %
うち不渡り発生状況	枚 数	0 枚	6 枚
	金 額	0 千円	4,455 千円
車庫証明取扱件数【9月】 (諏訪・岡谷自家用自動車協会管内)		1,352 件	7.9 %
新設住宅着工件数 (17年4月～8月) (諏訪地方事務所管内)		1,012 件	13.3 %

概 況

地域の製造業

輸送用機械、産業機械・携帯電話関連企業は引き続き高水準の生産を続けており半導体関連部品の受注が幾分回復してきた。プラスチック加工、精密機器部品加工などの一部下請企業に受注が減少している企業が見られるが全体としては受注が幾分回復している。

自動車関連下請企業の受注状況は概ね安定しており受注が増加したところもみられ、原材料の値上がりや受注単価引き下げなどの課題を抱えながらも今後も安定した受注が続くとみる企業が多い。

産業機械関連企業の受注は増加、減少区々となっているが総じて受注は増加している。

工作機械は自動車部品向けや海外出荷の機械は引き続き順調な生産を続けている。

地域製造業の受注は企業により増加・減少区々となっているが全体としては幾分回復傾向を示しており、原油高騰の影響からコスト対応に苦慮する企業が多くみられるものの、全体としては製造業の景況は幾分回復している。

商業

9月は残暑が続き記録的な高温・少雨・多照の天候となったこともあり商業活動は全体として低調であった。

衣料品は、天候の影響を受け初秋の季節商品の売れ行きは低調で朝夕気温が下がった一時期ミセスの羽織ものに動きがみられたほかは、売れ行きが低調だった。

食料品は店舗により売れ行きが区々となっており、前年は「小宮の御柱」特需があったことから前年比ではマイナスとなった店舗がみられた。下旬の岡谷市中心部の食品館の新規オープンから来店客数が減少した既存店舗がみられた。

電気製品はゲーム機や、行楽シーズンを前にしてデジタルカメラの動きがよく大型薄型TVも引き続き動きがみられ、全体としては前年同期比では売上を伸ばした模様。

ホームセンターは、天候の影響を受け秋から冬に向けての季節商品の売れ行きは幾分低調だった。

観光

夏から秋に向けての観光シーズンの移行期であるが、少雨・多照の天候から地域の観光地の入りこみが多く賑わいをみせた。宿泊客は残暑を避けた馴染み客の宿泊もあって前年を上回るところもみられたが、諏訪地域全体では愛知万博の影響もあり前年を割り込んだ模様。

諏訪の旅館・ホテルの宿泊客は区々となっているが直前予約やインターネット予約などが多く総体では前年を上回った模様。1部屋当たりの宿泊客は2人～3人と小人数となっており客室稼働率は高くなっている。

蓼科・白樺湖・車山方面は天候に恵まれ日帰り客の入り込みが多く賑わいをみせロープウェイなど観光施設の利用客が増加したものの、宿泊客は旅館により区々で総じては前年並を割り込んだ模様。

下諏訪温泉は後半3連休が続いたことから宿泊客は増加したところがみられるが総じて前年を割り込んでいる。

諏訪大社の参拝客は55,367人で、前年比では16,690人減少した。

建設業

市町村の9月の発注工事は879百万円で前年同月比20百万円減少した。地元企業への県発注工事は590百万円で、前年同月比248百万円増加した。県・市町村合わせた9月の公共工事の地元企業受注額は、1,469百万円で前年同月比228百万円増加した。民間工事では、8月の新設住宅着工件数は338戸で前年同月比161戸増加した。

17年4月～8月の累計着工戸数は1,012戸で前年同期の累計着工戸数に比べ119戸増加している。

建築工事は幾分増加し予定の受注を確保したところもみられるが土木工事は減少したままで建設業は依然厳しい状況となっている。

雇用面

8月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.38倍、岡谷公共職業安定所1.29倍で諏訪地域の有効求人倍率は1.33倍と長野県の0.99倍を上回っている。諏訪職安、岡谷職安合わせた8月の新規求人(全数)は1,445人で前月より66人減少した。製造業からの新規求人は前月より幾分増加しているが前年同月比では昨年秋以降減少傾向を示している。製造業からの求人は専門技術者など即戦力を求めている。

諏訪地域の有効求人倍率は平成15年10月以降連続して1倍を上回っている。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

業種別動向

1. 電気機器

- プリント基板 携帯電話、パソコン向けなどの受注増加から高水準の生産を続けている企業がみられ全体としては受注は増加している。
- コンデンサー フィルムコンデンサーの受注は幾分増加している。
- プリンター 下請け企業の受注状況は区々となっているが総じては増加している。インクカートリッジは堅調に推移している。
- コンダクター・リレー 安定した生産状況が続いている。

2. 輸送用機械

- 自動車 自動車部品は材料費の値上がりから収益性は厳しいものの受注は安定しており、生産状況は総じて高水準となっている。二輪車部品は幾分弱含みとなっている。
- ピストンリング・シリンダーライター メーカーは順調な生産を続けており下請企業の受注は幾分増加している。
- 船外機 外注企業は高水準のまま横這い状況の受注となっている。

3. 一般機械

- 工作機械 自動車関連企業や海外出荷の工作機械は堅調な生産を続けている。
- 専用機・省力機器 専用機械、省力化機械など産業機械は高水準の生産を続けているところが多い。
- 搬送用機械 生産は横這い状況が続いているがデジタル家電などの新規受注は幾分減少している。
- 金型 情報機器や音響機器の金型受注は一部企業に高水準のまま横這い状況のところもみられるが減少したところもあり区々となっている。
- アルミダイキャスト 自動車部品や電元機部品に高水準の生産を続けているところが見られるが受注状況は区々で総体としては横這い状況となっている。

4. カメラ・レンズ

- デジタルカメラ デジタルカメラの8月の生産台数は471万台で、前月比8.8%、前年同月比2.7%の増となっている。(カメラ映像機器工業会)
8月の国内出荷は79万台、輸出412万台で4ヶ月連続増加しており買い替え需要が拡大している。海外生産が増加しており下請企業の受注状況はメーカーや機種により区々となっているが総じては減少している。
- プロジェクター メーカー各社の海外生産比率が高まり下請企業の受注は減少している。
- デジタルミニラボ 機種変更はみられるが引き続き順調な生産状況となっている。
- レンズ レンズの生産は海外が主体となっており、国内のガラスレンズの生産量は減少している。地域のレンズ加工はライフルスコープのレンズを含め総じて減少傾向が続いている。

5. 織 維
ニ ッ ト 冬物ニットの本格生産時期を迎えているが、残暑が厳しく初秋のニット製品の動きが幾分低調だったことから、専門店からの発注が遅れ気味となっている。
ホールガーメントの受注は堅調となっている。
6. 食 品
寒 天 業務用は堅調な売れ行きをみせ個人消費も増加しており、商社・問屋からの注文が増加しているが、品薄のため注文に応じられないところもみられる。
味 噌 残暑の影響がみられるが需要期を迎え出荷は幾分増加し、前年並となっている。
7. 製 材
諏訪地域の8月の木造住宅着工件数は100戸で前月比3戸増加した。
合板は幾分高くなっており価格は幾分強含みとなっている。赤松などアメリカの輸入は半減しハリケーンの影響がみられる。
8. 建 設
公 共 工 事 9月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所21件、林道治山工事関係9件、土地改良工事2件など合わせて36件、契約金額590百万円となっている。17.4月～17.9月の累計契約額は1,533百万円で前年同期累計比725百万円の減少。市町村発注工事は、建築工事11件241百万円、土木工事・下水道工事など69件487百万円、その他工事22件151百万円で合計102件879百万円で前年8月に比べ20百万円減少した。
民 間 工 事 8月の新設住宅着工件数は338戸（貸家を含む）で前年8月比161戸増加した。
建築工事に動きが見られるが土木工事は低調に推移している。

9. 商業

諏訪地方の9月は記録的な高温・少雨・多照の天候となったこともあり商業活動は全体として低調であった。

衣 料	残暑が長引き初秋の季節衣料品の売れ行きが低調だった。朝夕の気温が下がった時期ミセスの羽織ものに動きがみられたが一時的で続かず、総じて低調だった。
食 料 品	生鮮三品の売れ行きは店舗により区々となっている。前年比では「前年の小宮の御柱特需」の影響から前年を割り込んだところもみられた。加工食品は総じて順調な売れ行きをみせている。下旬岡谷市中心部の食品館の新規オープンの影響を受けた店舗がみられ、今後の店舗間競争の激しさが窺える。
電 気 機 器	デジタルカメラ、薄型大型TVは堅調な売れ行きをみせ、パソコンは落ち着いた動きとなっている。ゲーム機、ゲームソフトの売れ行きが好調で全体としては前年を上回る店舗がみられた。
自 動 車	諏訪・岡谷を合わせた9月の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,352台で、前月比233台増加したが前年同月比では7.9%の減少となっている。軽自動車は引き続き売上を伸ばしており、普通乗用車は新車に動きがみられたが全体としては横這いとなっている。
ホームセンター	天候の影響を受け秋から冬に向けての季節商品の動きが低調で前年を割り込んだ模様。

10. 観光

夏から秋の観光シーズンへの移行時期を迎え、高温、少雨、多照の天候から地域の観光地への入り込みは多く賑わいをみせた。3日の新作花火大会は天候の影響を受けたが多数の入込客により大変な盛り上がりを見せた。宿泊客は施設により区々となっている。総体では愛知万博の影響を受けており、残暑を避けた顧客や下旬の3連休が続いたことなどから宿泊客を伸ばしたところがみられるが全体としては前年を割り込んだ模様。

上諏訪温泉	3日の新作花火大会は好評で満館のところが多かった。厳しい残暑を避け馴染み客の宿泊が増えたところもある。宿泊客は旅館・ホテルにより増加減少区々となっているが総体では前年を上回った模様。1部屋当たり宿泊客数が2人～3人と少人数になっており客室稼働率は高くなっている。
蓼科・白樺湖・車山	日帰り客の入り込みが多く賑わいをみせたが宿泊客は施設により区々となっており総じては前年を下回っている。リフトなど観光施設は天候に恵まれ3連休が重なり大変な賑わいをみせ利用客が大幅に伸びている。
下諏訪温泉	3連休が続き宿泊客を伸ばしたところもみられるが総体では昨年を割り込んだ模様。
諏訪大社	上社・下社の参拝客数は55,367人で前月より16,690人減少した。

最近の長野県経済の動向

(2005年10月3日)日本銀行松本支店

2005年8月の主要経済統計および企業ヒアリングを中心とした月例調査に加え、第126回全国企業短期経済観測調査(長野県分<別途公表>)の結果も併せて取りまとめ。

長野県経済は、足踏み状態から脱しつつある。

足もとの最終需要の動向をみると、**設備投資**は、05年度計画が上方修正されるなど、増加基調にある。**住宅投資**は、貸家の増加により前年を上回った。また、**個人消費**は、天候不順などから一部に弱めの動きもみられるが、耐久消費財を中心に総じてみれば底堅く推移している。**輸出**は、05年度上期実績見込みがなお前年を下回る水準となっているが、6月調査に比べると上方修正されるなど、持ち直しの兆しが窺われる。一方、**公共投資**は、市町村・国発注分が減少したため、前年を下回った。

以上のような最終需要の下で、生産は、自動車・産業機械向けの生産が高水準を維持しているほか、IT関連財の生産も在庫調整の一巡を受けて持ち直している。また、企業収益は、製造業の05年度上期実績見込みが下方修正されたものの、なお高水準を維持しており、下期には大幅な増益に転じる計画となっている。こうした中、雇用面をみると、転職機会の拡大を眺めて求職者数が増加する中で、求人数が増加したことから、有効求人倍率は前月比上昇した。一方、所得面は、所定内給与が底堅く推移するなど、全体としては持ち直し傾向にある。

個別業界の動向

(生産)

半導体関連では、半導体素子の生産が、国内外の自動車向けやデジタル家電向けを中心に高水準の生産を続けているほか、シリコンウエハーの生産も緩やかに回復している。一方、リードフレームの生産は、代替品への移行も進む中で、低調に推移している。

電子部品では、デジタル家電向けの在庫調整が一巡している中で、コンデンサの生産は緩やかに回復しており、抵抗器の生産も、携帯電話向けを中心に持ち直しの動きが窺われる。一方、モーターの生産は、海外メーカーとの価格競争や海外への生産移管の影響により、低調に推移している。

情報機器では、プリンターは、フォト機能を充実させた製品の販売増加を背景に、好調な生産となっている。また、県内生産分のパソコン(ノートブック型)は、横ばい圏内での推移となっている。一方、デジタルカメラは、販売の伸び悩みを受けて、生産は低調に推移している。

自動車部品は、新型車投入の効果から、国内向けが総じて堅調に推移しているほか、海外向けも好調なことから、高水準の生産を続けている。

工作機械は、国内の自動車向けの増勢がやや鈍化しているものの、海外の自動車向けや情報関連機器向けが引き続き安定しているほか、ここにきて国内の情報関連機器向けも持ち直してきたことから、全体としては堅調な生産が続いている。

味噌の出荷は総じて横ばいで推移している。

(個人消費)

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)をみると、休日営業日が前年に比べて1日減少したことやお盆期間中の天候が不順であったことの影響を受ける中で、衣料品が引き続き前年割れとなったほか、ウエイトの高い食料品も、野菜・果物の価格下落もあって、わずかながら前年を下回ったことから、全体では2ヶ月連続して前年を下回った。

家電販売は、デジタル家電や白物家電が好調を維持している中で、パソコンが夏モデルを中心に持ち直しているほか、気温高を背景にエアコンや季節商品の売上が増加したことから、全体では堅調な販売が続いている。

自動車販売をみると、新型車投入効果がみられている小型車、軽四輪を中心に前年を上回った。

(建設)

県内建設関連企業における**民間工事新規受注額**は、一般企業の設備案件や新規出店案件がみられるものの、県外業者との競争激化から県内業者の受注額は前年を下回ってきている。**公共工事請負額**は、市町村・国発注分が減少したため、前年を下回った。**住宅着工戸数**は、貸家の増加により、前年を上回った。